



こうべ森の学校だより

No.93
2020年7・8月号

発行人：こうべ森の学校 編集委員会

発行所：神戸市北区山田町下谷上中一里山 4-1

神戸市森林整備事務所内

Tel: 078-371-5937 Fax: 078-371-1087

苗木植樹について

苗圃班 東郷賢治

いま 苗圃班がお世話している苗木は 8種類 約 350本ぐらいは苗床や温室にあります。これまでに年々皆さんと一緒に植栽してきた木々だけでも200本はくだりません。

例年森の文化祭などに参加する市民にも呼びかけてコバノミツバツツジやカエデ・マツなどが公園の広場や尾根筋や伐採後の森等でしっかりと根を下ろし、成長している姿を見かけられており、よくご存じかと思えます。



今年では会員の皆さんに呼びかけて 梅雨前からマツの植樹をと計画。また、例年のように文化祭でも市民の方々と一緒に植樹をしたいものと思っておりましたが、コロナウイルスの感染の予防の対策の為 本年度の前半の活動が全面的に停止と言うことになってしまいました。従って、計画はゼロのまま夏を越そうとしています。



苗木は生きています。日々成長し続けています。元気の良いマツは春からだけでも30cmは伸びています。苗木の植栽はいつでも良いというものではありません。最適の時期が秋の半ば10月中旬から11月にかけてとなります。この秋はマツ・カエデ・アジサイを中心に植えたいものと考えています。過日も役員会に出席してスタッフや会員の皆さんのご協力を得て修法が原池中心とした地域と再度ドライブウェイ両側の公園の適地に来るだけ沢山の苗木を植えたいものご検討を頂きました。森林整備事務所とも話し合いを持つこととなっており、ご指示・ご指導を得て計画を進めたいと思っています。

皆さま方のお力とお知恵をお寄せいただくことを願っています。具体的な計画等が出来ましたら、メールや森学便りやおはがき等でお知らせします。

皆さまのご参加を期待しております。



自然観察グループ報告

自然観察グループ 佐藤憲一

新型コロナで3月以降月例会も開催できずにいます。そしてもう、再度公園の活動地は秋に突入しました。ここ数週間に見かけた「鳥、昆虫、花木だより」です。



クサギ(花の香りはとても素敵)



ミズタマソウ
(種に水滴がつくと水玉になります)



ヌスビトハギ
(ひつつき虫ができてます)



ゲンノショウコ
(ミコシグサともいいます)



女郎花(オミナエシ:秋の七草)



桔梗(キキョウ:秋の七草)



撫子(ナデシコ:秋の七草)



萩(マルバハギ:秋の七草)



ヒヨドリバナ(秋の七草の藤袴の仲間)



イソノキの実



ソウシショウ
(きれいな鳴き声はステキです)



ジャコウアゲハ?(ログハウス内で頓死していた) 幼虫の食草は有毒なアリマウマノスズクサ

木工班の近況報告

木工班 河合 篤

会員の皆様、御無事でお過ごしでしょうか。コロナウィルスにより変な時代に入り4月9日より休校となりましたが、6月23日より火、木曜日のみ活動が再開できる様になり、以前より計画しておりました公園内に設置されているベンチ・椅子・テーブルの補修することになりました。

乾燥させていた木材の木取り加工から始めて、お盆休み前に数ヶ所仕上げました。残り分、8月18日より木取り加工を始めています。多くの方に参加頂き製作中ですが、お手伝いできる方、来て頂けたらありがたいです。

※マスク着用、そして消毒スプレー等準備しており、ひとまず予防はしています。



森学の活動に参加の皆さまへ

森の保全係 中里 勲

コロナウィルス感染拡大防止の為、今年の3月から月例会は中止しています。平日活動も3月から6月中頃まで自粛していましたが、6/16(火)より火、木曜日は活動を再開し、8/1(土)からは土曜日も再開しました。

再開後、平日活動に参加された会員さん、スタッフは家に閉じこもって、話をする相手も限られていた分、ログハウスでの仲間との会話もはずみ(但し、ログハウスに入る時は消毒液で手を拭き、マスク着用ですが)又 森の手入れでは休養充分なのか、活動にも力が入りました。

お陰様で、活動地の少花粉スギ付近はスッキリしました。(写真、ご覧ください) 皆さまにおかれましても、コロナに負けないよう、日々お過ごしのことと思いますが、一度 再度公園でおもいきり、新鮮な空気を胸一杯吸ってみませんか?! 森学の平日活動に是非参加の程、お願い致します。



恒さんの気まぐれ読書あんない

森学代表 藤原 恒夫

コロナで外出自粛。長いホームステイは、私に読書時間を与えてくれました。森学休校直前にログハウスの図書をまとめ借りました。また、書店へは行けないのでネットで本を検索、検索、検索。アマゾン購入が増えました。その中で、面白いのがありましたので紹介します。

講談社青い鳥文庫の『森は生きている』『川は生きている』富山和子著です。小学中級向けで字も大きくルビが入っています。森林のはたらきについて分かりやすく書かれています。大人が読んでも十分参考になります。かつて、NHKが日曜日の夕方『週間こどもニュース』という番組をやっていましたが、私はよく見ていました。池上彰、柴田理恵が親になって三人の子供に最近

のニュースを優しく解説するというコンセプト。大人も勉強になりました。今回紹介する自然と人間生きているシリーズも軽く読めますが、ためになりますよ。森林ボランティアの入門書になりますかな。



東お多福山の活動再開のお知らせ

東お多福山係 中里 勲

今年3月から新型コロナウイルスの感染防止対策での為、東お多福山の活動を休止していましたが、9月30日(水)の活動から再開することになりました。集合時間、場所は従来通り、9:00 東お多福山登山口バス停前です。多数の参加をお願い致します。しばらくの間、作業をしていませんので、皆様の体調を考慮し、休憩時間を長く取り、終了時間を早くします。(PM 2:30 作業終了の予定です。)



■お知らせ・掲示板

♠こうべ森の小学校 & 森のようちえん

♠摩耶の森クラブ

(活動日の問い合わせは、神戸市森林整備事務所に)

♠ボランティア保険に加入していますか

森の手入れの作業中の事故に備えて「兵庫県ボランティア・市民活動災害共済保険」への加入手続きをされていますか。掛け金は500円の負担で補償期間は4月1日から翌年3月31日までです。受付窓口はお住まいの市区町社会福祉協議会です。

会員活動の開催予定日

- ・月例会 10月18日(日)の活動は9月中旬の新型コロナウイルスの状況で決定します。開催に当たっては、内容を変更をする場合があります。
- ・上記以外の火・木・土曜日も活動しています。

「こうべ森の学校」は、発足当初から物心両面にわたり伊藤ハム株式会社の社会貢献活動の支援を受けて運営されています。